

天皇盃 第37回

全国車いす駅伝競走大会への御協賛をお願いいたします



障害のある人もない人も共にその能力を生かして活躍できる社会の実現を目指し、都大路を全国のレーサーが駆け抜ける大会を開催します。

主催

全国車いす駅伝競走大会実行委員会(会長 西脇隆俊京都府知事)京都府、京都市、(公財)日本パラスポーツ協会、(一社)京都府身体障害者団体連合会、(公社)京都市身体障害者団体連合会、(社福)京都府社会福祉協議会、(社福)京都市社会福祉協議会、(公財)京都府スポーツ協会、(一社)京都障害者スポーツ振興会、ユース21京都、京都新聞、(公財)京都新聞社会福祉事業団

ご挨拶

貴社益々御清栄のこととおよこび申し上げます。平素は格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

天皇盃全国車いす駅伝競走大会は、全国から集まった車いすレーサー達が早春の都大路を駆け抜けるスポーツイベントとして、来年3月で37回目を迎えます。

京都の街中を駆け抜ける駅伝と言えば、年末の高校駅伝や年始の皇后盃全国女子駅伝が有名ですが、これらとともに同じコースを使って行う全国車いす駅伝は、もう一つの駅伝として長年全国の人たちに親しまれてきました。

車いす駅伝の出場する選手（レーサー）のほとんどが下肢に障害を持つ方々です。レーサーたちは晴れの舞台に向け日々鍛錬を積み重ねています。

競技に対する情熱やプライドを持ち、最高のパフォーマンスを発揮するために全力を尽くしています。

コースは国立京都国際会館前をスタートし、駅伝発祥の地・京都市内のメインストリートを、たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園内）までの5区間21.3kmで行います。世界的なトップアスリートの登竜門ともなっている全国高校駅伝や、皇后盃全国女子駅伝などと同じコースを駆けぬけます。

そして、街中のコース沿道には、大会を支える多くのボランティアとともに、毎年、地元はもとより全国各地から多くの観客が応援にやってきて、レーサーたちへ熱い応援を送る、地域に根差した駅伝大会となっています。

こうした中、京都府では、文化芸術やスポーツ、その他社会生活全般において、障害のある人もない人も共にその能力を生かして活躍できる社会の実現を目指しており、その取り組みの一つとして、障害者の社会参加の促進と障害者スポーツの振興を図り、障害者に関する理解と認識を深める大会として、開会を開催して参りました。

本年度は、皆様の御支援・御協賛のもと令和8年3月8日（日）に「天皇盃 第37回全国車いす駅伝競走大会」として開催することを決定しました。

前回大会をも超えるような熱狂を巻き起こす素晴らしい大会とするべく、現在、関係者の方々とともに、鋭意準備を進めているところです。

つきましては、引き続き、御協賛（寄付等）につきまして、特段の御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、御支援いただきました場合は、本実行委員会の発行物等に協賛企業として御紹介させていただきますことを申し添えます。

都大路を舞台に最高のパフォーマンスを私たちに届けてくれる選手たちへ応援のため、御支援・御協賛・お力添え賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年吉日

全国車いす駅伝競走大会実行委員会

天皇盃を戴く歴史ある大会

平成元年度、障害者の社会参加の高揚と障害者スポーツの振興、障害者に対する理解と認識を深めることを目的に、これまで36回開催してきました。



長年の活動が認められ第30回大会から天皇盃を戴く大会となりました。



京都府知事が実行委員会会長、京都市長が副会長となり、府内の障害福祉団体、スポーツ団体も主催者として参画する運営体制



都大路を駆け抜ける代表的駅伝大会

12月の高校駅伝、1月の全国都道府県対抗女子駅伝と並ぶ京都のメインストリート「都大路」を走る三大駅伝競走大会として全国で長年親しまれてきました。車いす駅伝は、これら駅伝競走と同じ「都大路」を使って行われます。



日本一を目指してパラアスリートが競う

参加選手は各都道府県（政令市）を代表して参加します。
チームは男女混合や、5区間のうち2区間まで健常者を含む構成が可能な、
インクルーシブ※な大会ともなっています。



※インクルーシブな大会とは、年齢や性別、障害のある、なしに関わらず、相互に認め合う共生社会の実現に向けた取組を推進する、各人の適性にあったスポーツ活動をさします。

地域に根差し多くの人々が大会を支えています

大会には、陸上競技協会審判（約330人）、補助員（約100人）、警察や警備員、若者たちのボランティア団体（約500人）、行政、沿道で警備にあたる立哨員（約250人）は府内の各競技団体や社会福祉団体がボランティアにあたるなど、多くの人々が大会を支えています。

また、企業・団体からの協賛は、毎年100社・団体からいただいています。



天皇盃 全国車いす駅伝競走大会 ご支援に対する特典について

特典内容		特別協賛 (300万円)	50口以上 (50万円以上)	25口以上 (25万円以上)	10口以上 (10万円以上)	1口以上 (1万円以上)
①大会ポスター	市政広報版、市バス車内広告等 約15,000部	「特別協賛」と明記、企業名(ロゴ)を特大サイズ 掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ
②大会当日のネット中継	スマートフォンやパソコンから視聴	「特別協賛」と明記、企業名(ロゴ)を特大サイズ 掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ
③交通規制チラシ	新聞折込等による配布 約30万部	「特別協賛」と明記、企業名(ロゴ)を特大サイズ 掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ
④当日用パンフレット	大会関係者への配布 約3,500部	企業広告を裏表紙にカラーで 掲載:1ページ	企業・団体の広告掲載:1ページ	企業・団体の広告掲載:1/2ページ	企業・団体の広告掲載:1/4ページ	企業・団体の広告掲載:1/8ページ
⑤大会公式ホームページ	大会公式ホームページへの掲載	「特別協賛」と明記、企業名(ロゴ)を特大サイズ 掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名(ロゴ)掲載:カラー	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ
⑥会場協賛看板	スタート、フィニッシュの計2箇所に設置	「特別協賛」と明記、企業名(ロゴ)を特大サイズ 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ	企業・団体名 掲載:モノクロ

【留意事項】

- 1 露出メディアの掲載順位は、協賛金額の高い順、同額の場合は申込み順とします。(金額と申込みが同じ場合は五十音順)
- 2 露出メディアの掲載は、協賛金額の区分ごとにロゴや文字の大きさを変更します。
- 3 2025年12月25日以降のお申し込みとなる場合にはポスターへの社名・ロゴマーク等の掲出はできませんので、ご了承ください。
- 4 露出メディア及び媒体は変更する場合があります。

天皇盃 第37回全国車いす駅伝競走大会 協賛申込書

下記に☑、記載いただき、FAX又は電子メールにてお申込みをお願いいたします。
(お申込み受付後、請求書を送付させていただきます。) ※1口1万円をお願いします。

特別協賛(300万円)

50口(50万円)以上

25口(25万円)以上

10口(10万円)以上

1口(1万円)以上

上記の具体的な金額 ¥

御社名		代表者名	
御住所			
御担当者	役職名	氏名	
	電話番号	メールアドレス	
広告掲載用社名(協賛企業一覧掲載時の表記) (リンク先URL)			
御請求書送付先(上記と異なる場合のみ記載願います)			
自由記入欄			

<送付・お問合せ先>

全国車いす駅伝競走大会実行委員会
事務局(京都府障害者支援課)
申込期日: 12月1日(月)

〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府健康福祉部障害者支援課内
TEL 075-414-4603
メール wheelchair.ekiden@gmail.com
FAX 075-414-4597